

2016 年 7 月 13 日

日時:2016 年 7 月 13 日(木) PM5:00~6:30

場所:富谷町役場

参加者:富谷町総合計画審議会 委員 14 名(別紙参照)

:富谷町代表 7 名

:事務局 6 名

:オブザーバー(宮城大学事業構想学部学生) 3 名

議事録

- 開会宣言
- 委嘱状の交付
- 町長挨拶
 - 昨年度は、地方創生総合戦略を中心に議論頂き、新市総合計画の骨子まで検討頂いた。
 - 本年 10 月 10 日に市制移行が実現するが、市になることが目的なのではなく、市になることでどのようなまちづくりを目指すかが重要なのであり、審議会委員の皆さまの意見を聞いて基本構想を策定したい。
 - 富谷は 5,000 人の町でスタートして、現在 50,000 人を越えたことにより市に移行することとなったが、こうした多彩で豊富な人材が主役であるといったことが昨年度の審議の結論であった。
 - 今年はさらに、総合計画(基本構想)の策定にあたり市民意向調査を実施するとともに、ここに至るまでアンケート結果を基としたまちづくり懇談会を実施して広く意見を聴取してきており、こうした過程を踏んだ上でのまちづくり審議会の開催となっている。
 - 委員の皆さまの忌憚の無いご意見を賜りたく、宜しくお願いしたい。
- 委員紹介(自己紹介)
- 議事
 - (1) 会長及び会長職務代理者の選任
 - 草間委員(東北福祉大学)を会長に、佐々木委員(宮城大学)を会長職務代理者に専任
 - 町長が申すとおり、多種多彩な人達が輝くまちへ、オールとみやで進めるために委員の皆さまの忌憚の無いご意見を賜りたい(草間委員)。
 - (2) 富谷町地方創生総合交付金事業実績について(別紙資料参照)
 - 地方創生交付金事業実施状況についての説明(事務局・松原)
 - 来年度以降も同様に事業効果検証に関する説明を受けることとなる(草間会長)
 - (3) 富谷市総合計画基本構想案について(別紙資料参照)
 - 富谷市総合計画策定スケジュール、まちづくりアンケート結果概要、まちづくり懇談会意

見概要、現行総合計画の評価、基本構想案について説明(事務局・高橋)

- 審議時間の関係上、一通り全員から順番に意見を賜ることとする。(草間会長)
- 良く目を通しきれていないので、アンケート結果を読み込んだ上で意見を述べたい(田中委員)
- 去年審議した5つのテーマに、更に「育む」を加えていただいたことは、これからの子どもたちの事を考えても非常にありがたい(増田委員)
- 「育む」と「活かす」の定義づけは事務局サイドで明確化したほうが良い(草間会長)
- 市になることで、アンケート結果などでは大規模な施設を要求するような意見も多々見られるが、決して大きな施設を作ればいいということではなく、今ある施設を有効に活用していく視点が重要。また、「とみばす」は実施していただいて良かった。後は、委員の皆さまの色々な意見を聞いてみたい(平岡委員)
- 平岡委員の言うとおり、あれもこれもといった方向性からは脱却すべき。色々吟味して決めていく必要がある(草間会長)
- アンケート結果と基本構想の方針案に乖離があるように思われ気になる。今後どのように市民意向を反映していく方針か(富田委員)
- 総合計画は行政運営全般にわたる計画であるため、アンケート結果とのギャップは織り込んで作っていく方向性。ただし、ミスマッチには柔軟に対応していく姿勢が必要になる(草間会長)
- 古くからの農家を守り、そこから新たなものを育んでいく視点で進めていきたい(小松委員)
- 障がい者も働ける場の確保は重要な視点。こうした観点を踏まえ、アンケート結果をどう活かしていくかが重要(佐々木委員)
- 障害者施策等については明確に文章化していくことが重要。また、具体的な施策を検討する実施計画の段階でアンケート結果はチェックする必要がある(草間会長)
- 「育む」のテーマを追加したことは全体的なまとまりの中でスッキリした。これからの施策展開に対する前向きな思いが伝わってくる(佐々木委員)
- 「育む」の追加は非常に良かった。これからの子供の教育を考えた場合、子供の段階から実際の現場で福祉に触れ合う環境づくりで福祉の精神を培っていくことは重要になる。そうした面からも、他の自治体とは違う温かさを醸し出していく計画であって欲しい。(草野委員)
- 富谷は、新しい人達が新しく創った地域という印象を持っている。その新しさにはいいイメージを持っており、例えば高校生が普通に挨拶してくれるといったことには新鮮な驚きを感じている。他の地域では見られない気がする。こうした人材も自然も活かすこと、つなげていくことが重要と思われる。是非とも他にはない、新しい部分が活かされたまちづくりを進めて欲しいし、新しいまちづくりに「育む」は非常にいいキーワードだと思う。そして更に、新しく来た人達をつないでいって欲しいと思う(麻生川委員)

- ボランティア精神が上手く回っていけば「育む」はいいキーワードだ(大川委員)
- ポートフォリオ・マトリクスの図で、「農業振興」が「観察施策」のエリアにあることは非常に寂しい。古くから農業は富谷の基幹産業であった。その基の農業を守るまちづくりが大事だと思う。子どもたちを集めて食育教育等交流を行っているが、そうした観点からも「育む」のキーワードは非常に良いと思う(佐藤委員)
- 「誇る」のキーワードから連想するに、ブルーベリーが非常に有名になった。こうした事象をもっともお盛り上げて、 $+\alpha$ を加えていくことで、ただ「誇る」ものから「活かす」方向にもっていけばいいと考える(大川原委員)
- 委員の意見が一巡して会議時間も迫ってきていることから、現役大学生の若い視点からオブザーバーの3人の意見を賜りたい(草間会長)
- 就職活動が始まる立場からは雇用が非常に気になっている。インターンで職場体験先を探す際は、どうしても大都市に目が行く傾向にある。そうした中で、基本構想案の中に「起業支援」が掲げられているが、若い人達も0から始めることが出来る雰囲気、一度都市圏で働いてもUターンできるまちであって欲しいと願う。更には、イノベーションしたい人を富谷に呼べるような環境づくりに期待したい(山中)
- 住む場所を選択する際に、交通環境はすごく大事だと感じている。実際、職場選びは駅に近い場所で検討した。富谷から仙台の学校に通うのに非常に不便であった。その他、スイーツ博覧会は非常に楽しみにしている。是非とも高校生や中学生が参加できるように楽しくにぎわうイベントにしていきたい(立花)
- アンケート調査の「今後富谷に住みたくない」と答えられた方々のその理由で突出して多い交通環境については、富谷町内でも地域によって違うのではないかと考えられ、出来れば地域別に分析すべきではないかと考える(相沢)

(4) その他(事務局・高橋)

- 次回審議会は7/28を予定している。最終回は8/1を予定している。

以上